

多文化関係学会 2020年度 第3回理事会

日時：2020年10月11（日）13時半～15時30分

方法：オンライン開催（Zoom）

出席：田崎、湊、田中、松井、岡部、河野、畠中、金本、内藤、小坂、小林、出口

欠席：武田、江藤、岡村、馬場、宇治谷、（委任状あり）（敬称略・順不同）

議事次第

1. 報告事項

(1) 事務局からの報告

- ・現時点での会員数は、正会員240名、学生60名、シニア5名、合計305名。会費未払い者が5名。
- ・大会発表を前提に入会を希望される方へは、支払い期日をホームページ上に記載する方法も要検討。

(2) 第19回年次大会準備委員会からの報告

- ・オンライン開催のプログラム、注意事項をMLで配信済み。総会については、大会ホームページの一番下に明記。
- ・現時点の参加者は35名（発表者含む）。参加締め切りは、10月16日。
- ・今後、抄録集をML、大会ホームページで配信予定。

(3) 地区研究会委員会からの報告

- ・中部・関西地区研究会は、9月10日zoom開催され、全国から27名が参加。
- ・中国・四国地区研究会は、11月3日zoom開催予定。
- ・関東地区研究会は、今年度2回開催予定であったが1回実施できず。
- ・九州地区研究会は、9月19日にオンライン開催された。参加者は14名（学会員4名、他12名）であり、北海道、四国、韓国からの参加があった。年度内に、研究発表に関する研修会を開催予定。

(4) 学会誌編集委員会からの報告

- ・採択件数は4件。採択率28%、例年25%であり今年度は採択率が良い。現在、入稿段階で年内には終了予定。

(5) 多文化関係学会WGからの報告

- ・学会誌の投稿規定の見直しについて、現在は原著・研究ノートのみ2ジャンルに限られるため、5つのカテゴリーを設けるべき議論中。

(6) その他

- ・「異文化コミュニケーション事典」（春風社）の電子書籍化に伴い発生する印税の寄付は、受けることに決定。印税は、異文化コミュニケーション学会と折半した額を当学会へ寄付される予定。
- ・次回発行のNLは大会特集号となるが、今年度はオンライン開催に向けた大会総括的内容を大会委員長に執筆依頼予定。

2. 審議事項

(1) 本年度の決算書について

- ・2019年度収支決算書について、内容が審議され、承認された。総会で説明を行う予定。

(2) 次年度の大会について

- ・covid-19の収束が予測できず、次年度については検討中。

(3) 選挙について

- ・例年通りのスケジュールで進め、年内に投票予定。12月30日頃の締め切りを設置し、自薦・他薦は11月16日頃とする。3月の理事会で新理事、会長、副会長を決定予定。
- ・今年度はweb投票とする。会員本人の投票の確認、複数回の投票の回避などweb投票の注意点を考慮する。委託先は要検討。

(4) その他

- ・特になし

*2020年度第4回理事会（3月Zoom）

3月12日（金）10時～

以上。